

2004

MEXICO

ISSE

コンフレンス

2004.07.12~07.15.

TSIE

ISSE コンフレンス報告

1. 自己紹介
2. 交流時期について

■日本の交流時期（派遣）が限定されるのは？

日本では、学校教育（教育制度）などの違いにより、派遣事業は夏休み以外には考えられない。その関係で相手校の夏休み（もしくは年度変わりの休暇）が日本と同じ時期の国（学校）とは交流が不可能。

以上については、詳細な確認が必要。

ー例えばー

例1. 昨年日本（西浦北小）がホストしたメキシコのセンカ小の休みは8月15日まで。もし、西浦北小が8月7日~25日まで派遣していたとすれば8月16日~24日の9日間は通学可能。

例2. アメリカのニューメキシコの小学校では8月でも休んでいない学校があるのでISSE加盟校をベースにして交流は可能。

以上、例1・例2による交流についてISSEは了承。

□ISSE スーさんから以下の補足説明

- ・ 私たちは8月以外に日本の四国の小学校（パンフを提示）を受け入れます。但し、その小学校は私学。

□オーストラリア代表から

- ・ アメリカとオーストラリアもお互いの休みの時期が重なります。
オーストラリアは12月~1月が休み
アメリカは6月~8月が休み
お互い学校に通えるのは9月~11月、2月~5月。

□アメリカ代表から

- ・ イラク戦争以降、ホストは可能ですが派遣が出来なくて困っています。昨年、オーストラリア、メキシコが中止となりました。コミュニケーションの問題ではないでしょうか？インドなら5月~6月で派遣、10月~11月で受入れは可能です。

以上から、ISSEに加盟する学校が増加すれば交流相手が増えます。もし、ドイツなどの他の国をISSEに紹介して頂ければありがたいです。もちろん、おのおのが努力して自分で探せば可能です。昨年、サースでキャンセルとなったが自分でセッティングして交流事業を行なった事例などを紹介。

ISSEに新しい国を紹介した場合、その経費はISSEが支払います。ISSEの規模

が大きくなって来たので支払いは可能となりました。

3. 連絡方法について

■Eメール

メキシコ代表からEメールについて反対の意見。

Eメールは休みの時や病気の時はいきません。例えば、現在Eメールをもらっても学校が休みですからいきません。電話料金が安くなりましたら電話が良いと思います。

連絡方法に関しては言葉の問題（電話の場合会話が問題）や連絡相手国の数などから利便性を重視してEメールでよい。

4. 資金について

■日本のように派遣のみで受入れがない場合は？

本来、理由を問わずペナルティ。

□アメリカの提案

- ・ 毎年、ISSE 学校参加費として、25 US ドル支払い、事業を行なったら追加 125 US ドルを支払う。（合計、150 US ドル）

以上のアメリカ提案は承認、決定された。

5. 交流相手について

■今後の交流相手の選考方法について

①Person To Person Negotiation

②Lottery（くじ引き）

③Each School List's 4 Choices

以上で採決の結果、日本とアメリカは①Person to Person Negotiation に賛成
残りの国は全て②Lottery（くじ引き）に賛成。多数決により、2004 年以降はくじ引きで相手校を選考することに決定。くじ引きは明日（13、参照）とする。

6. Selection Process（選抜の方法について）

■8人の派遣生を募集したら20人の応募があった場合

・ 試験をして決定。試験内容は以下の通り。

① 文化について

② 音楽について

③ スポーツについて

④ 先生について

⑤ 性格について（親切かどうかなど）

※決して、お金持ちが決定理由となりません

□日本の選抜の一例（面接の質問内容も踏まえて）を紹介

- ・ 先ず、学校により選考委員会を構成します。そして、作文、面接をします。
- ・ 作文は以下のテーマなどについて提出します。
 - ① 国際交流の派遣団の一員としてどんな目的で交流しますか。
 - ② 家族構成や趣味、特技など。

面接では以下の質問をします。

- ① 派遣団の一員となったら訪問国で何をしたいですか？
- ② 家族構成や趣味、特技を聞きパフォーマンスをしてもらう。
- ③ 学校から自分の家までの道順をわかりやすくランドマークなどを紹介しながら教えて下さい。

以上を5人程度の選考委員の前で子どもが答えます。

□選抜から外れたときは？

- ・ 父兄がどうして自分の子が選抜から外れたか聞きにきます。
派遣団の構成などを説明して納得してもらいます。

□リーダーの先生が自分の子どもをつれて行こうとした場合

- ・ リーダーに応募した先生の子どもがまだ小さいので、一緒に連れて行こうとしたケースがありましたが、これは駄目です。

7. 初めての国と交流する場合

■交流相手の大使館を訪問して国について質問します。

□日本の場合

- ・ 日本では、下見を行います。下見をしないとトラブルが大小関わらず発生します。

8. 日本の派遣生について

■オーストラリアから次の意見

- ・ 宿題が多いので困ります。

9. 派遣団の訪問校でのプログラムについて

■意見交換

- ・ もし、日本の小学生が英語の授業（日本で）を受けていたら、メキシコでも英語の授業に出てもらいます。もちろん試験中であれば試験も受けます。
- ・ オーストラリアではオーストラリアの国の文化などについて教えます。
- ・ オーストラリアの派遣生は日本で折り紙、日本の子ども達の文化や遊

びについて、又、寺院の大仏のことなどを勉強してきました。そして、自分の学校で日本のことを報告し教えています。

- ・ 日本を訪問（西浦北小）した時、先生や父兄よりも子どもの方が英語をよく話すと報告がありました。（センカ小、コーディネーター）
- ・ 女の子が以前メキシコにきた時、1週間泣いていました。帰国してもらいました。寂しかったです。

対策：先生は派遣生の家庭を訪問します。そして、その家族全員を集めて話をします。この場合、家族全員集まっていなければ意味がありません。その時は、派遣生全ての家族にも集まってもらう場合もあります。

10. インターネット、webサイトの質問

- ・ もし相手校の紹介、写真などが必要であれば ISSE 本部のズーに言って下さい。それについて質問があればズーに質問して下さい。

11. フォームについて

- ・ 日本人の名前は男女がよく分かりません。出来れば写真提出をして下さい。私たちは提出してと思いますが？。
- ・ オーストラリアでは、写真提出には問題があります。父兄の許可を取ってからでないと、載せられません。

12. 中学生プログラムについて

■メキシコの学校（小学校から高等学校までの一貫教育）から以下の質問。

- ・ ISSE で中学生プログラムを検討してほしい。
- ・ 中学生になると SEX、タバコ、ドラッグ、など問題が沢山あります。駄目だと思います。中学校は ISSE 以外です。
- ・ 日本では、マレーシアと中学生プログラムを ISSE 以外のプログラムで持っています。この 8 月に派遣、来年受入を予定しています。中学生プログラムについてメキシコの学校からマレーシアが終了したら是非交流したいと申し入れがありました。

13. 今後（2004～2005、2005～2006、2006～2007）の相手校について

■ここで大問題が発生。

- ・ 日本では既に 2004 年のプログラムは決定済というのが、理解されてなくて（ズーさんでさえ聞いてません、駄目ですと返事）2004 年～2005 年の相手校のくじ引きから開始準備を始める。ここで、日本の学校の新学期開始時期をメキシコの学校の新学期開始

時期と比較（表-1にて）説明。すなわち、年度の違いを説明。2004年度は4月から始まっていることを説明。従って、日本では来月（8月）には派遣事業が始まることを説明。苦勞して、理解を得る。但し、2005年度はくじ引きの対象となる。

■表-1

	2004								2005								2006												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	
日本					HOST										HOST													HOST	
メキシコ				休	HOST										VISIT	休	HOST											VISIT	休

2004年度
 2005年度
 2006年度

■Lottery（くじ引き）による2005年度以降の組合せ

	2004	2005	2006	2007	2008
三和小		ST ANTHONY コスタリカ	ST ANTHONY コスタリカ	JENKINGTOWN USA	JENKINGTOWN USA
大野小		BETHANY USA	BETHANY USA	REGENCY PARK オーストラリア	REGENCY PARK オーストラリア
鬼崎南小	REGENCY PARK オーストラリア	ST. PETER コスタリカ	ST. PETER コスタリカ	GRAHAM USA	GRAHAM USA
常滑東小	WEEDEN HEIGHTS オーストラリア	WEEDEN HEIGHTS オーストラリア	SELBY オーストラリア	SELBY オーストラリア	LA PAZ ACAPULCO メキシコ
常滑西小		COKATOO オーストラリア	COKATOO オーストラリア	HARRINGTON パミューダ	HARRINGTON パミューダ
西浦南小	SURKUALALUMPUR マレーシア	SURKUALALUMPUR マレーシア	ROWVILLE オーストラリア	ROWVILLE オーストラリア	THOMAS ALVA EDISON メキシコ

（注）

- ①大野小学校、2005年はISSEプログラムを行なわないことがISSE事務局に連絡が伝わっていなかった為（ジャパンレポートには取り止め記入なし）、2005年のくじの対象となった。
- ②三和小学校の2005年～2006年の相手校、ST ANTHONY（コスタリカ）はくじ引き当日、エル・サルバドルの代表からLANGWARRIN（オーストラリア）と

交換してほしいと申し入れがありました。従って、上記リストの三和小の2005～2006年はST ANTHONY（コスタリカ）からLANGWARRIN（オーストラリア）に変更になります。

14. Brochure（パンフレット）について

■ISSEの入会案内のしかたについて

- ・ ISSEの代表者のサイン入りパンフレットを送ったと言う意見もあったがHPだけで対応したいと本部は答弁。HPのみで対応すると、ISSEのコーディネーターと名乗って悪さを働く人がいる。パスワードがあれば安全です。
- ・ もし、パンフレットが送って欲しければスーさんに言って下さい。

■ISSEのパンフレットには日本は載っていませんか？

- ・ リンクできるようにTSIEのHPに英語版で付けてください。

15. 小規模の小学校の交流について提案

■小規模の小学校の交流についてオーストラリアから提案

- ・ 小規模の小学校は交流事業を続けるため、合同でVISIT、HOSTを行いません。方法については、それぞれの学校で方法を企画提案します。例えば、VISITの場合、2校合同派遣団として訪問します。HOSTの場合は時期を分けて（前半、後半）行いません。

以上の提案について承認。

16. Next Conferenceについて提案

2006年7月中旬 マレーシアで開催。以上の提案について承認
（※マレーシアの次は日本という多くの声を聞く）

17. 議事録について

Eメールにて一カ月後レポートを送ります。

18. その他

コーディネーターの任期が終了したら次のコーディネーターのアドレスを教えてください。アドレスは、本当は変わらないほうが良いです。

—以上—

TSIE 会 長 福田 泰造
TSIE 事務局員 田村 由紀